

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 25日

事業所名 きらりは一と那覇新都心

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	5	0	0	広く使うため体操用具等は適時片付け、机も折りたたみ式で用途に応じて設置しているためスペースを確保できている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	送迎時には、その時に対応できる支援を行っている。	職員が送迎に出る際、安全に活動できるよう職員配置や活動内容を考えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	0	5		階段でしか上れない所がある。上り下り困難な利用児がいないため、改善予定なし。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	MTGで目標を話し合い、週に一度振り返りを行い必要に応じて業務改善に取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	事業所の評価をもとに、職員で討議をし、業務改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	4		評価は行ってないが、保護者様からいただく声で必要な改善を行っており、好評のお声をいただいている。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	定期的に職員研修(体操補助練習など)を行っている。	コロナ禍のため研修を控えているが、オンライン研修などに参加している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	契約時に、アセスメントシートに記入をいただき、児の課題面・困り感等聴き取りを行い、職員間でMTGを行った上で、計画を立てている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	アセスメントツールを利用し家庭や相談支援員と一緒に、実態の把握やニーズの把握に繋げている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	職員間で連携し、提案を立て療育活動の共有化を図っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	職員間で活動内容に対してのねらい目的を共有し、日々の活動内容を決め進めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	長期休暇では、普段のプログラムではできないような遠足などのイベントを企画し、支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	個別での支援と集団活動を取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	毎朝のミーティングにて実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	当日の支援終了後に、当日の出来事や明日の連絡事項など、毎日確認している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	毎日記録をつけており、次回のベースアップに繋げている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	半年ごとにモニタリングを行い、支援プランの見直しをしている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0	0	体操を通して成功体験など、自己肯定感を高めるよう支援している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5	0	0	児発管が出席している が、全職員が対応でき る体制をとっている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	5	0	0	各学校の行事や下 校時刻の変更など、 保護者様や学校と連 絡を取りながら調整 を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	0	5	協力医療機関を設け ている。	現在該当する利用児がいないため、受け入れの際に は連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	保育園やこども園と会 議を持ち、相互理解を 持つようになっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4	1	0		就学前の様子を保護者に確認している。必要であれ ば情報共有する機会を設けていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	0	1	4		感染症対策のため、受ける機会が少ないが、オンライ ン研修が可能な場合は受講するようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	0	4		感染症対策のため、交流する機会は持っていない。今 後落ち着いたら検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	0	5		感染症対策のため参加することが難しいが、オンライ ンなどがあれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	0	0	送迎時に日頃の様子 の情報を共有し、共 通理解を行えている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	4	1	0		直接ペアレントトレーニングは行っていないが、研修の 情報を保護者様へ発信している。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に、保護者と 確認をしながら行っ ている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	5	0	0	送迎の際に、気にな ることや子育ての悩 みなど、発達特性に 沿って一緒に考えて いる。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5	0	0		感染症対策のため、保護者会など行うことができてい ないが、人数制限を行いながら参加できる場を設けて いる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	0	0	即対応を心掛け、職員 間でも共通認識として話 し合いを設けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	0	0	毎月カリキュラムの 予定を配布してい る。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	個人情報利用同意書を 確認し、写真掲載に関 しても慎重に行ってい る。	写真掲載同意書も契約時に同意をいただいたうえで取 り扱っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	個別に対応しており、 一人ひとりの発達特 性を考慮して伝えて いる。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	0	3		コロナにより行事開催、招待を行っていないが、今後 感染症対策を行いながら、工夫して行っていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	職員間での共有ができており、契約時などで保護者に周知をしている。	年に2回、避難訓練を実施しているが、保護者への周知を徹底的に行っていきたい。各マニュアルを作成しており、契約時に説明を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0		年に2回、様々な災害を想定した訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	マニュアルを作成しており、虐待防止責任者を設置し、利用児の様子を細かく観察するよう心掛けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	やむを得ない(利用児の危険に関わる)身体拘束等、職員間で周知徹底し、家族にその旨を伝えている。	保護者様へ、やむを得ない場合がどうい状況なのか、具体例をあげてわかりやすく説明をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	保護者と連携し、完全除去で対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	ヒヤリと思う事態があると作成し、職員で共有をし、改善策を話し合っている。	